

# 「戦争資料館」設立目指す

## 熊本 市民団体などが準備会

戦争の記憶を次世代に継承するための資料館「ピースくまもと(仮称)」の設立

を目指し、県内の市民グループなどが13日、くまもと県民交流館パレア(熊本市中央区)で、設立準備会の発足会を開いた。戦後70年を過ぎて戦争経験者が減る



約100人が参加した「ピースくまもと(仮称)」設立準備会の発足会

中で、関係団体が連携して資料館設立を呼びかける。準備会は、戦争体験を伝

承する「新老人の会熊本支部・戦争を語り継ぐ会」や、戦争遺跡の調査・保存に取り組む「戦争遺産フォーラムくまもと」が母体となる。

資料館は、熊本空襲の調査や記録、戦争遺産の情報発信とともに、次世代に記憶を継承するための拠点とすることを目指す。準備会は今後、県内の戦争遺跡を巡るツアーや、ホームページでの活動内容の発信などを通じ、資料館の設立に向け、賛同者を募るといふ。

発足会には、高校生ら約100人が参加。菊池市で私設の戦争資料館「菊池飛行場ミュージアム」を運営

する市民団体や、熊本空襲の経験者らによる発表が行われた。準備会の小山和作

代表(85)は「心を一つに力を合わせて資料館をつくらうとなった。戦争を二度と

起こしてはいけないと、大きな声で伝え続けなければいけない」と訴えた。